

新潟市の小中一貫した教育

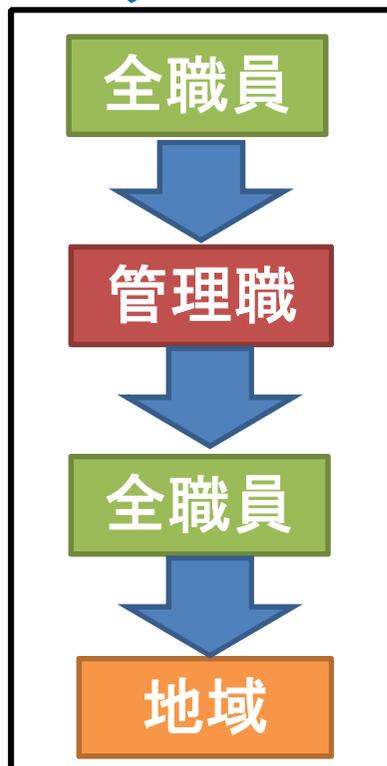
「目指す子どもの姿」
「共通プログラム」

作成手順例

パイロット中学校区の実践から

「目指す子どもの姿」の設定手順例

パターン1

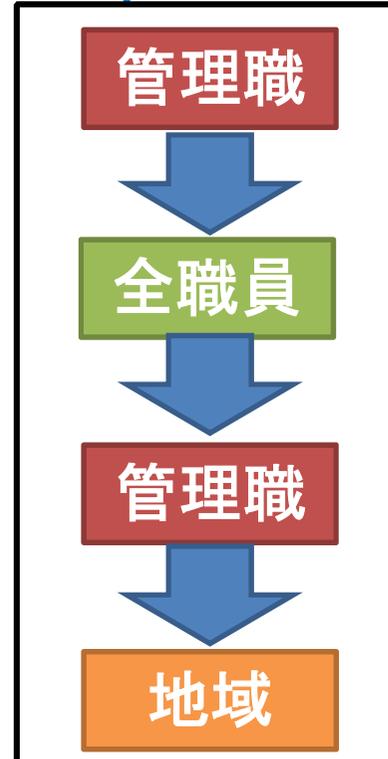


全職員から原案やキーワードを出してもらい、管理職等がまとめる。その後、修正・承認を求める。

その他



パターン2



管理職等が原案を出し、全職員から意見もらう。その後修正を加え、承認を求める。

その他



全職員 は主に小中合同研修会

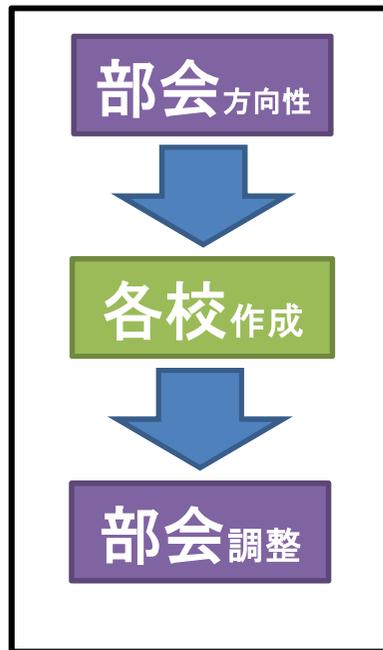
管理職 は校区校長会・教頭会のほか、教務主任，研究主任，分科会代表者等

地域 は主に小中一貫教育推進委員会

共通プログラム

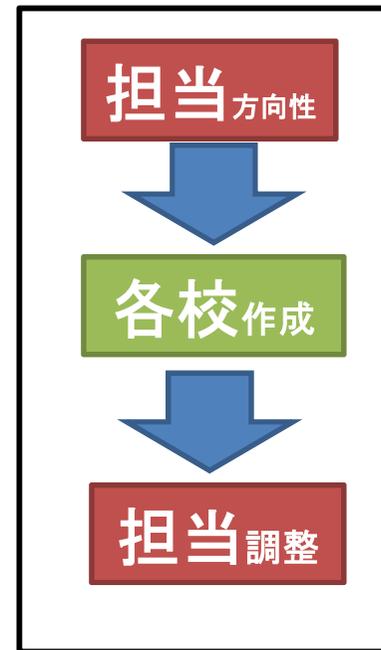
「9年間を見通した生活科・総合」の取組手順例

「総合」部会がある校区



部会で方向性(身に付けさせたい資質能力や実現に関わる方法)を決め、各校で作成する。部会で最終調整を行う。

「総合」部会がない校区



担当が方向性(身に付けさせたい資質能力や実現に関わる方法)を決め、各校で作成する。担当が最終調整を行う。

その他



部会

は主に小中合同研修会における生活科・総合部会

担当

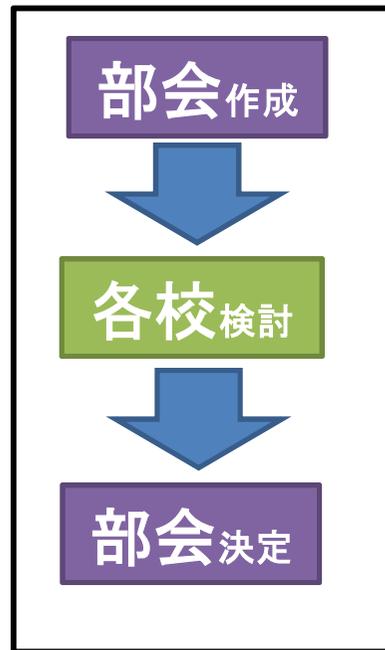
は研究主任・総合担当等

地域

は地域と身に付けさせたい資質・能力についての共通理解

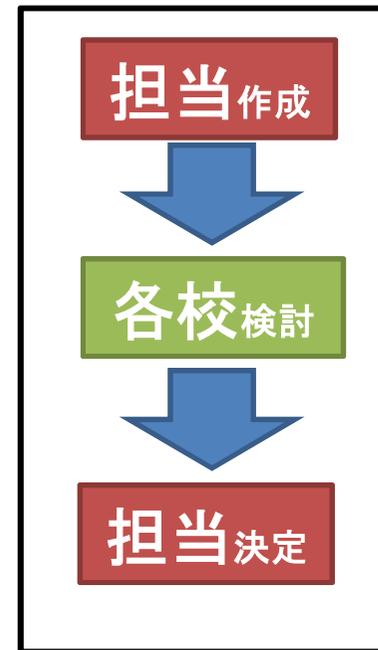
共通プログラム 「9年間を見通した学習の仕方」の取組手順

「学習」部会がある校区



部会で原案を作成し、各校で検討をする。部会で最終調整を行い、決定する。

「学習」部会がない校区



担当が原案を作成し、各校で検討をする。担当が最終調整を行い、決定する。

※毎年、改定の検討を行うところが多い

部会 は主に小中合同研修会における学習部会
担当 は研究主任・学習指導主任等

パイロット中学校区から

共通プログラム

「小中一貫合同研修会」で設置した部会

◆3つの部会の中学校区

※紫色の部会は共通・独自
プログラムに対応する部会
(総合・学習・地域等)

赤塚中学校区

- ① 学習指導部会 ② 生徒指導部会 ③ 総合学習連携部会

味方中学校区

- ① 学力向上部会 ② 生徒指導部会 ③ 特別支援部会

東石山中学校区

- ① 推進のとびら1 (学び) ② 推進のとびら2 (生徒指導)
③ 推進のとびら3 (地域との共同)

◆4～6つの部会の中学校区

潟東中学校区

- ① 学習指導部会 ② 特別支援部会 ③ 生徒指導部会
- ④ 総合的な学習部会

両川中学校区

- ① 学力向上部会 ② 生徒指導部会 ③ 体力健康増進部会
- ④ 特別支援部会

木崎中学校区

- ① 学力向上部会 ② 地域交流部会 ③ 食育部会 ④ 徳育部会

新津第一中学校区

- ① 学習指導部会 ② 生徒指導部会 ③ 特別活動部会
- ④ 総合学習部会 ⑤ 特別支援教育部会 ⑥ 教務部会